

鹿屋市の支援事業

転入者に限らず、市では生活の様々な場面に合わせた支援等を行っており、一部をご紹介します。また、そのほかの支援については、市ホームページ等でご確認ください。

かのやに決めた!!

鹿屋市では医療費無償化の対象が中学生までだったものを、令和3年4月から高校生までに拡充しました。また、小学3年生までの子どもが遊べ、アドバイザーへの相談や保護者同士の交流・情報交換ができる屋内施設「あそVIVA!かのや」を令和2年11月に開設するなど、これからも出産・子育てしやすいまちづくりに取り組んでいきます。



市子育て支援課 主事
さこだ さやか
迫田 清佳さん

妊産婦・新生児訪問、産後ケア事業

助産師又は保健師が家庭を訪問して、育児・産後の相談に応じたり、助産院で助産師によるケアを受けられる宿泊ケア(有料)もあります。

問 市子育て世代支援センター (市保健相談センター内)
Tel 0994-41-2110



子育て

チャイルドシートの無料貸出

子どもが満1歳を迎える月末まで、新生児から使えるチャイルドシートを無料で貸し出しています。市外在住の4歳以下の子どもの帰省時にも3週間の貸出しが可能です。

問 市子育て支援課 Tel 0994-31-1134



つどいの広場

子育て家庭の親とその子ども(0~3歳)が気軽に集い、自由に利用できる遊び場です。子育てに関するイベントや育児相談も実施しています。

問 市子育て支援課 Tel 0994-31-1134



新規就農者就農支援事業(耕種) 畜産担い手定着促進事業(畜産)

新しく就農する人に就農研修期間中(耕種1年間、畜産2年間)の生活資金や開始資金の一部を助成します。

問 市農林水産課(耕種) Tel 0994-31-1183
市畜産課(畜産) Tel 0994-31-1118



▲耕種

▲畜産

インターンシップ促進補助金

市外の学生が、鹿屋市内の事業所でインターンシップをするための交通費や宿泊費などを補助します。

(対象経費の1/2以内、上限50,000円)
問 市商工振興課 Tel 0994-31-1164



仕事

合同就職面談会

採用に積極的な市内企業の人事担当者と直接面談することで、パンフレットやインターネットでは得られない詳しい仕事内容や企業の魅力を知ることができます。

問 市商工振興課 Tel 0994-31-1164



鹿屋市の求人は医療・福祉関係が最も多く、農林漁業分野が占める割合も都心部と比べて大きいです。また中小企業が多いため、経営者が従業員を大事にする傾向があると思います。事業所として、これまで育てた人材を大切にしたいという思いが強いからだと思います。



ハローワークかのや 所長
ながやま しんいち
長山 伸一さん

コロナ禍により人口の多い都市部から地方へ移住したい人が増えており、現在はかのや移住サポートセンターに毎月約10件の問い合わせがあります。身近に本市への移住やUターンを検討している人がいたら、ぜひかのや移住サポートセンターをご紹介ください。



かのや移住サポートセンター (地域活力推進課内) 主任主事
やぎ だいすけ
八木 大輔さん

移住支援金制度

東京23区に在住又は通勤する人が鹿屋市に移住し、県求人サイト「かごJob」の対象企業に就職した場合に移住支援金を支給します。(単身世帯60万円、2人以上世帯100万円)

問 かのや移住サポートセンター
Tel 0994-45-6930



移住

空き家等バンク利用移住者引越し費用補助金

県外等からの移住者が空き家等バンクの登録物件を利用する場合に、移住時の引越し費用の一部を補助します。

問 かのや移住サポートセンター
Tel 0994-45-6930



移住体験活動補助金

県外から鹿屋市に1泊2日以上滞在して、医療・介護・保育の事業所での職場体験や農家での農業体験などをする場合の交通・宿泊費の一部を補助します。

問 かのや移住サポートセンター
Tel 0994-45-6930

